

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	陽光ホーム	評価対象年度	令和5年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人育桜福祉会 ・代表者名 萩原 利昌 ・住所 川崎市中原区西加瀬10番3号	評価者	障害者施設指導課長
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害者施設指導課

2. 事業実績

利用実績	共同生活援助（定員 16名）在籍者 14名（令和6年3月31日現在） 地域生活体験事業（定員 1日2名）延利用日数 5日																										
収支実績	<p>【R5】</p> <table border="1"> <tr> <td>収入</td> <td>支出</td> <td>収支差額</td> </tr> <tr> <td>経常活動 83,911千円</td> <td>経常活動 76,487千円</td> <td>7,424千円</td> </tr> <tr> <td>給付費 40,946千円</td> <td>人件費 58,522千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>川崎市単独扶助 19,218千円</td> <td>事務費 2,753千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料 6,679千円</td> <td>事業費 10,055千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用料収入 8,664千円</td> <td>本部経費 3,415千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他 8,404千円</td> <td>その他 17,42千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計 83,911千円</td> <td>合計 76,487千円</td> <td></td> </tr> </table> <p>※端数処理のため合計が一致しないことがあります。</p>			収入	支出	収支差額	経常活動 83,911千円	経常活動 76,487千円	7,424千円	給付費 40,946千円	人件費 58,522千円		川崎市単独扶助 19,218千円	事務費 2,753千円		指定管理委託料 6,679千円	事業費 10,055千円		利用料収入 8,664千円	本部経費 3,415千円		その他 8,404千円	その他 17,42千円		合計 83,911千円	合計 76,487千円	
収入	支出	収支差額																									
経常活動 83,911千円	経常活動 76,487千円	7,424千円																									
給付費 40,946千円	人件費 58,522千円																										
川崎市単独扶助 19,218千円	事務費 2,753千円																										
指定管理委託料 6,679千円	事業費 10,055千円																										
利用料収入 8,664千円	本部経費 3,415千円																										
その他 8,404千円	その他 17,42千円																										
合計 83,911千円	合計 76,487千円																										
サービス向上の取組	<p>・利用者の人権の尊重を第一とし、職員にとって支援しやすい管理的な支援ではなく、利用者それぞれの悩みや希望に着目し話し合いの中で整理しながら、自分らしい生活を実現できる支援を重視して取り組んでいる。</p> <p>・利用者一人ひとりが希望する生活を実現するために、相談支援事業等の関係機関と連携し、現在の生活状況を基に将来の生活について利用者と積極的に話し合いを行い、利用者の家族や後見人も定期的な面談を実施した。</p>																										

3. 評価（評価段階:5～1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
<p>（評価の理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者とのコミュニケーションを大事にして利用者の想いを受けとめた支援を行うため、個別支援計画の策定後に3回のモニタリングや月1回程度の面談を行い、利用者等の意向を随時取り入れながら個別支援計画の見直しを行っている。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の5類移行後も、外出時のマスクの着用やうがい・手洗い、換気などの感染症対策を継続して徹底し、感染防止や感染拡大防止に取り組んだ上で、関係機関と連携し、地域生活体験の利用希望者の見学対応や受入れを行うことができた。</li> <li>・利用者の自立を促すため、利用者個々のニーズに応じて、行動支援事業者や移動支援事業所の活用を促し、利用者の意向に併せて利用者職員で外出プランを検討し、自身で外出が可能な利用者に対しては、外出先についての情報提供やアドバイスを行うとともに、利用者自ら計画を立てて余暇を過ごすことを目的として、外出計画書の作成を促し、作成に関して職員が支援した。</li> </ul>					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	4	4	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
<p>（評価の理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男性用トイレの修繕や全室のエアコンクリーニング、全敷地内の草刈り等を実施し、突発的な支出が生じたが、概ね予算どおりの収支となっており、全体として安定的な事業運営を行っている。</li> <li>・法人として、平成29年度から自主的に会計監査人監査を実施し、年間を通じた内部統制の評価や拠点の往査も行って、適正な会計処理されている。</li> </ul>					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	3	6
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	3	3	
	利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
<p>（評価の理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の楽しみのひとつである食事について、衛生面の改善や味付けの均等化を目的として、法人の栄養士と連携しながら新たな配食業者に変更し、湯煎調理での食事提供を行った。また、配食業者と定期的に話し合い、利用者の健康状況や嗜好等を伝えて平日の献立に反映し、休日の提供は昼食のみであるが、同じく利用者の嗜好を考慮して提供することでサービス向上に取り組んでいる。</li> <li>・法人が実施している複数施設の代表者で行われるグループスーパーバージョンに、陽光ホームに在籍している、物の破壊などの不適応行動等が目立つ支援が難しい利用者を事例として提供し、計4回の検討を行い、具体的な支援方法を模索し、当該利用者に対して適切な支援を実施し、状況の改善が図られた。</li> </ul>					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>・強度行動障害支援力向上研修や世話人研修等の外部研修に参加するとともに、法人主体で行われているグループスーパービジョンに参加し、職員の業務知識や支援力の向上を図った。</li> <li>・法人主催の危機管理対応訓練を2回実施し、大型台風の到来予報を想定し、事業所におけるリスクの洗い出しと多摩川・鶴見川洪水避難地図を基に減災対応のシミュレーションを行った。また、震度6強の自身が発生した場合を想定し、被害状況を把握、共有し情報収集を行いながら、対応可能な職員の把握、事業運営のに向けた応援要請のシミュレーションを行った。</li> <li>・法人内のグループホーム管理者で預かり金の取扱いと記録の整備方法について点検を行い、適正な取り扱いを徹底するため、既存のマニュアルのブラッシュアップを行った。</li> </ul>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	4	4
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物管理等について、施設外周は施設長が毎朝目視点検し、外壁の破損状態、避難経路が確保されているか確認し、保守点検は委託により適切に行われている。</li> <li>・業務日誌や各種記録用紙は法人の統一書式を使用し、年度毎にファイルを作成している。当年度の記録類は常に宿直室内の書庫で管理保管し、職員が不在の場合は宿直室を施錠し、前年度以前の記録類は常に施錠された専用室に保管するなど、適切な整備及び管理の徹底を行っている。</li> <li>・敷地内の全面草刈りを実施するとともに、屋上の枯葉の溝詰まりの解消など定期的に行うことで、清潔な美観と快適な生活環境を維持している。</li> <li>・備品の管理記録について、適切に管理を行い、備品等の破損が生じた際には所管課に報告し、備品登録簿の適切に更新を行える態勢を整えた。</li> </ul>					

#### 4. その他加算

分類	項目	着眼点	評価点
その他加算	市の政策課題への取組	第三者へ一部の業務委託を行う際の市内中小企業者の受注機会の確保・拡大や地域包括ケアシステムの構築に向けた取組への協力、障害者の法定雇用率を越える雇用などを行っているか	0
(評価の理由)			

#### 5. 総合評価

評価点合計	69	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準:C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→40点以上50点未満,E→50点未満  
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

#### 6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の余暇活動や食事などの楽しみを損なわないよう工夫し、利用者一人ひとりの状況を十分に把握した上で、それぞれの健康管理や想いに配慮した支援を継続的に実施している。</li> <li>・利用者の御家族や後見人、支援関係者と日頃から密に連絡を取り合い、支援者会議を実施するなどして情報共有・連携を行うことで、利用者が安心して暮らせるための必要な支援が繋がる取り組みが行われている。</li> </ul>
--

#### 7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の意向を尊重した支援を実施したことは大いに評価できるため、今後も一人ひとりに寄り添った支援を継続していただきたい。</li> <li>・地域生活体験事業については、他法人からの利用増加のためさらに周知募集に努め、地域移行に向けた支援を進めること。</li> <li>・備品の整理については、取得廃棄など変更が生じた場合には、川崎市に随時報告するとともに、実地調査等の指導内容を適切に踏まえて適正な備品管理に努めること。</li> <li>・今期での事業終了を見据えながら、利用者に対し適切な支援を提供するとともに、利用者の意向を踏まえながら地域移行に伴う一人ひとりへのきめ細やかな支援を実施すること。</li> </ul>
--